

桜井市議会 7月1日

題字

桜井高校書芸コース3年
奥田 明日香 さん

新しい市議会議員が 決まりました

桜井市議会議員の任期満了に伴う、市議会議員選挙が4月23日に行われ、開票の結果、桜井市民の代表となる16人が決まりました。任期は令和5年4月30日から令和9年4月29日までです。

(掲載は50音順 敬称略)



井戸良美



大園光昭



大西 亘



岡田光司



鍛冶結花



工藤敏太郎



久保田裕一



小西誠次



阪口 豊



島岡 誠



杉山歳和



土家靖起



西 忠吉



東 俊克



札辻輝巳



山岡康了

令和5年 3月定例会報告

令和5年度一般会計予算

前年度比3.4%増

240億2,300万円

を可決!

定例会の概要

令和5年3月定例会は3月1日(金)～24日(金)までの24日間の会期で開かれました。

令和5年度の各会計予算に関する議案を中心に審議を行いました。

◇令和5年度予算・・・8件

◇令和4年度補正予算・・・2件

◇条例の制定・・・2件

◇条例の一部改正・・・4件

◇協議会の設置に関する協議・・・1件

◇人事案件・・・1件

(議員充議)

◇意見書・・・2件

◇条例の制定・・・1件

3 月定例会 主な議案議決結果

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
議案第 1 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市一般会計予算	予算総額 240 億 2,300 万円 (前年度比 3.4% 増)	可決 ※次頁「各議員の賛否」参照
議案第 2 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市住宅新築資金等貸付金特別会計予算	予算総額 353 万 3,000 円 (前年度比 18.9% 減)	可決
議案第 3 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市国民健康保険特別会計予算	予算総額 68 億 3,703 万円 8,000 円 (前年度比 2.9% 増)	可決
議案第 4 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市駐車場事業特別会計予算	予算総額 3,366 万 8,000 円 (前年度比 1.8% 減)	可決
議案第 5 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市介護保険特別会計予算	予算総額 64 億 5,086 万 3,000 円 (前年度比 0.8% 増)	可決
議案第 6 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市後期高齢者医療特別会計予算	予算総額 9 億 9,751 万 3,000 円 (前年度比 1.3% 増)	可決
議案第 7 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市水道事業会計予算	収益的収入 13 億 1,657 万 5,000 円 (前年度比 0.6% 減)	可決
議案第 8 号 (予算特別委員会)	令和 5 年度桜井市下水道事業会計予算	収益的収入 11 億 5,970 万 3,000 円 (前年度比 3.4% 減)	可決
議案第 9 号 (総務委員会)	令和 4 年度桜井市一般会計補正予算 (第 10 号)	補正額 1 億 1,025 万 7,000 円 グリーンパークの電気代高騰に伴う光熱水費の追加所要額、防災重点ため池の耐震診断及び劣化状況調査にかかる、ため池防災対策等推進事業委託料 等	可決
議案第 10 号	令和 4 年度桜井市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	補正額 1 億 3,062 万 9,000 円 一般会計より保険基盤安定繰入金を受けての各納付金への充当 等	可決
議案第 11 号 (総務委員会)	桜井市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	個人情報の保護に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、桜井市個人情報保護条例を廃止し、新たに法律から条例委任を受けた事項を規定するため当該条例を制定する。	可決
議案第 12 号 (総務委員会)	桜井市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	個人情報の保護に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、同法の規定に基づき行われる諮問、専門的な意見聴取、桜井市情報公開条例の規定による諮問に対する調査審議を行うため、当該条例を制定する。	可決
議案第 13 号	桜井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	バス送迎にあたっての安全管理の徹底に係る規定を追加するよう、所要の改正を行う 等	可決
議案第 14 号	桜井市子ども・子育て会議条例の一部改正について	子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、条例における当該法律を引用する条ずれに対応するため所要の改正を行う。	可決
議案第 15 号	桜井市国民健康保険条例の一部改正について	出産育児一時金について所要の改正を行う。 改正前：42 万円 改正後：50 万円	可決

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
議案第16号 (総務委員会)	桜井市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について	消防団員の年額報酬を一律2万円引き上げ、出勤報酬の額を規定する等	可決
議案第17号 (産業建設委員会)	奈良県広域水道企業団設立準備協議会の設置に関する協議について	奈良県広域水道企業団設立準備協議会の設置について、地方自治法第252条の2の2第3項の規定に基づき議会の議決を求める。	可決 ※下記「各議員の賛否」参照
発議案第1号	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書の提出について	提出先：厚生労働大臣、環境大臣、国土交通大臣	可決
発議案第2号	新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書の提出について	提出先：厚生労働大臣、財務大臣	可決
委員会提出議案第1号	桜井市議会の個人情報保護に関する条例の制定について	桜井市議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定める	可決
同第1号	副市長の選任につき同意を求めることについて	笹谷 清治氏	同意

各議員の賛否（賛成・・・○、反対・・・×、棄権・・・△、欠席・・・－）※議長は表決に加わりません

議員	工藤敏太郎	小西誠次	大園光昭	井戸良美	大西亘	工藤将之	阪口豊	西忠吉	藤井孝博	吉田忠雄	岡田光司	土家靖起	東俊克	札辻輝巳
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○

※金山成樹議員、我妻力議員は、2月28日付けをもって辞職されました。

産業建設委員会
(付託案件1件)

奈良県広域水道企業団設立準備協議会の設置に関する協議について(抜粋)

「県域水道一体化について」

問 メリット・デメリット等、十分議論が尽くされたと言えるのか。

答 これまで、議会への説明、基本計画及び基本協定案、市長の参加の意志、市の現状等、周知させていたいただき、その上で、パブリックコメントを実施するという手順を踏み、基本協定に調印している。

問 地震による災害時におけるバックアップ機能について、現時点で整備計画は示されているのか。また、災害時においてできるだけ地域内で循環させていく水循環の観点も不足していると考えがどうか。

答 3つの浄水場(昭和浄水場、桜井浄水場、御所浄水場)を給水拠点とし、それぞれのエリアで相互補完するという考えを示している。水融通についても、3つの拠点を導水管で結ぶことで直結配水を可能にする検討をし、令和5年度中に計画の策定等、詳細な確定を行う。

予算特別委員会

(付託案件8件)

- 委員長 井戸 良美
副委員長 藤井 孝博
委員 工藤敏太郎 大園 光昭
大西 亘 工藤 将之
岡田 光司 東 俊克

令和5年度桜井市一般会計予算について(抜粋)

問 今後、公共施設再配置計画において、40年間のうちに32%削減していく中、少子化対策も必要であり、どのように事業を並行して進めていくのか。

答 令和5年度と6年度で、ごみ処理施設基幹的設備改良事業を行い、令和7年度から令和12年度の間、中央公民館の耐震化、認定こども園あるいは小中一貫教育について順序を決めて実現していきたい。

問 DX(デジタルトランスフォーメーション)における合理化やデジタルを使った業務量の見直し等される中、人件費削減の計画はあるのか。

答 デジタル化は今後必須であり、行政のスリム化という意味では、できるだけ職員の負担を減らし、定員管理を考えていきたい。

問 自主防災活動に係る資機材の購入について、予算不足となった場合どうするの。

答 自主防災の取組みが5年以上経過したところに対して一定の予算範囲内で補助を行っていくが、予算不足の際は、十分検討していく。

問 パートナーシップ宣誓制度について、導入に向けての準備をしているという理解でよいか。

答 制度導入時にどのような影響が出るのか、現在、調査している。

問 緊急通報システム業務について、対象者は原則65歳以上であるが、対象年齢に限らず幅広く検討する可能性はあるのか。

答 対象年齢については、実情等を検討して、柔軟な対応をしていきたい。

問 少子化が想定よりも早く進んでいる中、初瀬小学校の入学生がゼロという事態を受けて、何か取組みは考えているのか。

答 初瀬小学校と朝倉小学校、桜井東中学校を同時期に統合し、小中一貫校をスタートさせる計画があるが、この状況を踏まえ、2つの小学校を少し早い段階で共に学ぶ場をつくってきたい。

総務委員会

(付託案件4件)

令和4年度桜井市一般会計補正予算(第10号)(抜粋)

「入札による下落率について」

問 インターネット分離システム構築委託料の入札による下落率が大きかった原因は何か。

答 コロナ禍もあり、予算編成時の試算において、半導体価格等の影響で費用が高額となっていたが、入札において競争原理が働いたのが原因である。

「ため池防災対策等推進事業について」

問 全額が国と県の補助となっているが、今後もこの事業は続くのか。

答 5つのため池のうち、3つのため池(長門池、吉備池、文殊池)について、国による補正で計上している。残りの2つのため池については、令和5年度予算で計上している。

「急傾斜地崩壊対策事業について」

問 今回、当事業を行う地域は、急傾斜地のレッドゾーンとなっているのか。また、他の地域においても、市からの要望を考慮してもらえるのか。

答 対象となった要配慮施設については、レッドゾーンになっている。対象地域は、県が優先順位を決定し、市では、今後避難所となっている箇所が次の候補となっている。

その他の質疑

- ・コンビニ交付システム改修委託料
- ・子育て世帯支援給付金

桜井市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について

「年額報酬等の支給方法について」

問 支給方法が内規に規定されていない。消防庁の通知では、「本人に支給されるべきであり適切に支給すること」とされているが、現在も団本部へ支給されている理由は何か。

答 消防庁の通知は、団本部へ説明を行っている。現在、団員の了解を得た上で、団の運営を考えながら支給するとしている。今後、通知をもとに個人支給について団本部に諮りながら検討を進めたい。



代表質問「桜井黎明の会」
桜井市の少子化対策について



岡田 光司 議員

問 10年早いペースで少子化が進んでいる状況の中、本市における少子化対策や子育て支援はどのようになっているのか。これまでの少子化対策から、次元の異なる対策を考えていかなければならないと考えるがどうか。

答 子どもに対する施策は多岐にわたるが、これまでの施策をより一層充実させながら、市民のニーズに合った少子化対策や子育て支援を実施するため、必要な財源を確保し子育てしやすいまち桜井を目指していきたい。限られた財源の中、市町村独自でできることには限界があるため、可能な範囲で取組みを進め、国の少子化対策との相乗効果に期待したいと考えている。また、子育て支援の分野で、自治体間に行政サービスの差が生じることはいかなものかとの思いを持っているため市長会等を通じて国へもしっかりと要望してまいりたい。

【その他の質問項目】●桜井市地球温暖化対策実行計画について



代表質問「新政自民クラブ」
松井市政の3期目の総括と市政の継続について



札辻 輝巳 議員

問 まちの活気と賑わいは失われ、一定の整備は進んでいるものの、先送りされてきた課題は山積している。人口が減少し、行政規模も縮小する中、今後、行財政運営のかじ取りは非常に厳しいと考えるが、市長の考える「若い人たちが夢と希望を持てる桜井市」の実現は道半ばであり、事業の継続性が求められる。次期市長選挙において再度出馬していただきたいがどうか。

答 鳥見山緑地公園の整備をはじめ、様々な事業や課題の解決に向け、基金への積立も行い、企業版ふるさと納税等、民間の力も借りながら、中長期的に実行すべき事業について計画的に解決を図っていきたい。様々な困難も予想されるが、与えられた使命であると、覚悟をもって、引き続き市政を担わせていただきたく、4期目を目指して出馬させていただきたいと考えている。

【その他の質問項目】●ソーラー（太陽光）発電パネルの設置規制について



代表質問「桜井維新の会」
これからの桜井市について



工藤 将之 議員

問 今議会で市長は次の4年も市政を担う決意を表明されたが、これからの桜井市には幼保一元化や学校統合など、様々な課題があると考ええる。①市長はこの課題に対して4年半の間どの程度まで道筋をつける考えか。②休館となっている市民会館についてはどう考えているのか。③予定されているこども園の設置については、子どもの数が減り続けている中で柔軟な対応が可能か。

答 ①桜井市には越えなければいけない課題が多くあることは認識しており、そのために基金の積み立てや企業版ふるさと納税など民間の力を活用しながら進めていきたい。②市民会館についてはできるだけ早い時期に再開したいと考えているが、以前の規模にこだわらず、その方法を模索している。③幼保一元化については基本計画の策定が済んでいるが、新たな施設の建設については現状を鑑みながら計画の変更も視野に入れて進めていきたい。



代表質問「公明党」
安心して安全な子育て環境の整備について



大園 光昭 議員

問 少子化は、想定を大きく上回るスピードで進み、児童虐待、いじめ、不登校、自殺も増え、子どもをめぐる状況は深刻である。子どもを持つこと自体がリスクと考える若者も増えている。公明党は、昨年11月に「子育て応援トータルプラン」を発表した。こども基本法が施行し、構造改革を本気で進める時であると考えている。市として、こども家庭庁が設置される令和5年度にどのような準備をされているかを伺う。

答 第6次総合計画の戦略的プロジェクトの1つに「子育て世代に選ばれるまちづくり」を位置づけ、具体的な取組みの柱として、「子育て施設等の整備」、「子育て支援充実」、「子育てしやすい環境整備」、「学力を高める教育環境の整備」、「情報発信・体験場提供」の5つの柱を掲げており、関係各課が連携協力し計画を押し進めている。

【その他の質問項目】●支え合い助け合う地域社会の構築について



一般質問

少子化対策について



大西 亘 議員

問 ①市においても喫緊の課題である少子化に対する市長の考えは。②4月スタートのこども家庭庁に対応する組織として、準備室を設置すべきと考えるがどうか。③「結婚新生活支援事業補助金」を活用した事業を実施する考えは。④乳児教育・保育所の完全無償化を進めるべきと考えるがどうか。⑤学童保育について、空き教室を利用した受入れや希望する全ての子どもを受入れを検討していただきたいがどうか。

答 ①国や県、民間の力を借りながら、少子化対策、子育て支援に一層力を入れていきたい。②令和6年4月からの新しい組織の検討と合わせ、関係課の連携を密にして取り組んでいきたい。③他自治体の取組みを研究するとともに結婚支援につながる事業であることから検討していきたい。④他自治体の実施内容を研究し検討していきたい。⑤学校の空き教室の活用等も含めて検討し、待機児童の解消または減少に努めたい。



一般質問

公園及び観光トイレの洋式化について



東 俊克 議員

問 トイレは健康で文化的な生活を営むために大きな役割を果たす施設である。日本の住宅の洋式トイレの普及率は9割を超え、和式を使用した経験が無い世代も増えている現在において公園及び観光トイレの洋式化は必要であると考えますが、洋式化計画について尋ねる。

答 市内の都市公園で洋式便器が設置されていないトイレは、初瀬ダム公衆トイレ、笠公衆トイレ、穴師公衆トイレの3カ所となっている。三輪児童公園については、駅前に新しく整備された公衆トイレの利用が可能なることから、洋式化する計画はないが、今後、施設の老朽化や故障などにより、修繕する必要性が生じた場合には、洋式化をしていきたいと考えている。穴師公衆トイレについては、地元より洋式化の要望があるが、県の所有物件であり、県との調整が必要となるとともに、土地が借地であり、所有者との調整も必要となることから、今後、検討していく。

議会の個人情報保護条例を制定しました

個人情報の保護に関する法律が改正され、本年4月に施行されましたが、議会は法律の適用外であるため、桜井市議会では、令和5年3月定例会において、独自の「桜井市議会の個人情報の保護に関する条例」を可決し、個人情報の適正な取扱い等の内容について規定しました。

【主な内容】

- 議会の保有個人情報
- 開示請求等
- 審査会への諮問
- 施行状況の公表
- 罰則規定

議会が保有する個人情報とは…

陳情・請願の提出者、参考人等に関する情報、傍聴人受付票等で、各議員が取得する個人情報は想定外となります。



一般質問

後期高齢者医療制度について



吉田 忠雄 議員

問 昨年10月から一定の所得のある高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げたが、2割負担の対象者は何名か。医療費負担が増えることで、受診控えで症状が悪化してからでは手遅れになることもある。公的責任で安心して医療を受けられるよう、国に対し、今からでも医療費の2割負担中止と再考を求めているがどうか。

答 令和4年10月1日の制度改正時点での2割負担の対象者は1,648人で、被保険者全体の17.7%である。窓口負担割合の見直しは、全ての世代で広く安心を支えていく「全世代対応型の社会保障制度」を構築するための法改正に伴うものである。現役世代の保険料負担の上昇を抑制するため、後期高齢者についても一定の所得がある方の2割負担の導入が実施された。これを踏まえると、国への2割負担中止の要望は難しいと考えているが、施行後3年間は、負担軽減を図るための配慮措置が設けられている。

令和5年新役員選出

令和5年第1回臨時会が5月10日に開かれ、令和5年新役員を選出が行われました。

議長 札辻輝巳

副議長 小西誠次

監査委員 大園光昭

正副議長あいさつ

この度、私たちは、去る5月10日に開催されました令和5年第1回臨時会におきまして、議長並びに副議長に就任いたしました。あらためてその使命の大きさと職責の重大さを痛感しております。

ご承知のとおり、私たちの社会では少子高齢化や人口減少問題が大変大きな課題となっており、市においても少子化対策や子ども子育て対策、高齢福祉対策など、今後ますます施策の充実が求められてまいります。

市議会といたしましても、桜井市議会基本条例に基づき、市民の代表として議会の果たすべき役割を十分認識し、より一層の努力をしてまいりますのでございます。

市民の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。



総務委員会

委員長 土家靖起
副委員長 杉山歳和
委員 鍛冶結花、島岡誠、山岡了、小西誠次、大園光昭、西岡忠吉、岡田俊克、東田光司、札辻輝巳

文教厚生委員会

委員長 大西巨
副委員長 久保田裕一
委員 鍛冶結花、島岡誠、山岡了、杉山歳和、工藤敏太郎、大園光昭、井戸良美、阪口俊克、東田俊克

産業建設委員会

委員長 工藤敏太郎
副委員長 山岡康了
委員 久保田裕一、小西誠次、井戸良美、大園光昭、西岡忠吉、岡田俊克、土家靖起

議会運営委員会

委員長 阪口豊
副委員長 島岡誠
委員 鍛冶結花、久保田裕一、小西誠次、井戸良美、大園光昭、岡田俊克

議会広報委員会

委員長 大西巨
副委員長 鍛冶結花
委員 久保田裕一、島岡誠、杉山歳和、山岡了

桜井市議会インターネット録画配信

インターネット議会中継（録画）は、本会議や委員会の様子を約1週間後に配信しています。「会議名」、「議員名」、「ことば」等で検索することもできますので、ぜひご覧ください。また、定例議会や臨時議会の会期中は1階ロビーのモニターでライブ配信を行っています。



録画配信はこちら▲